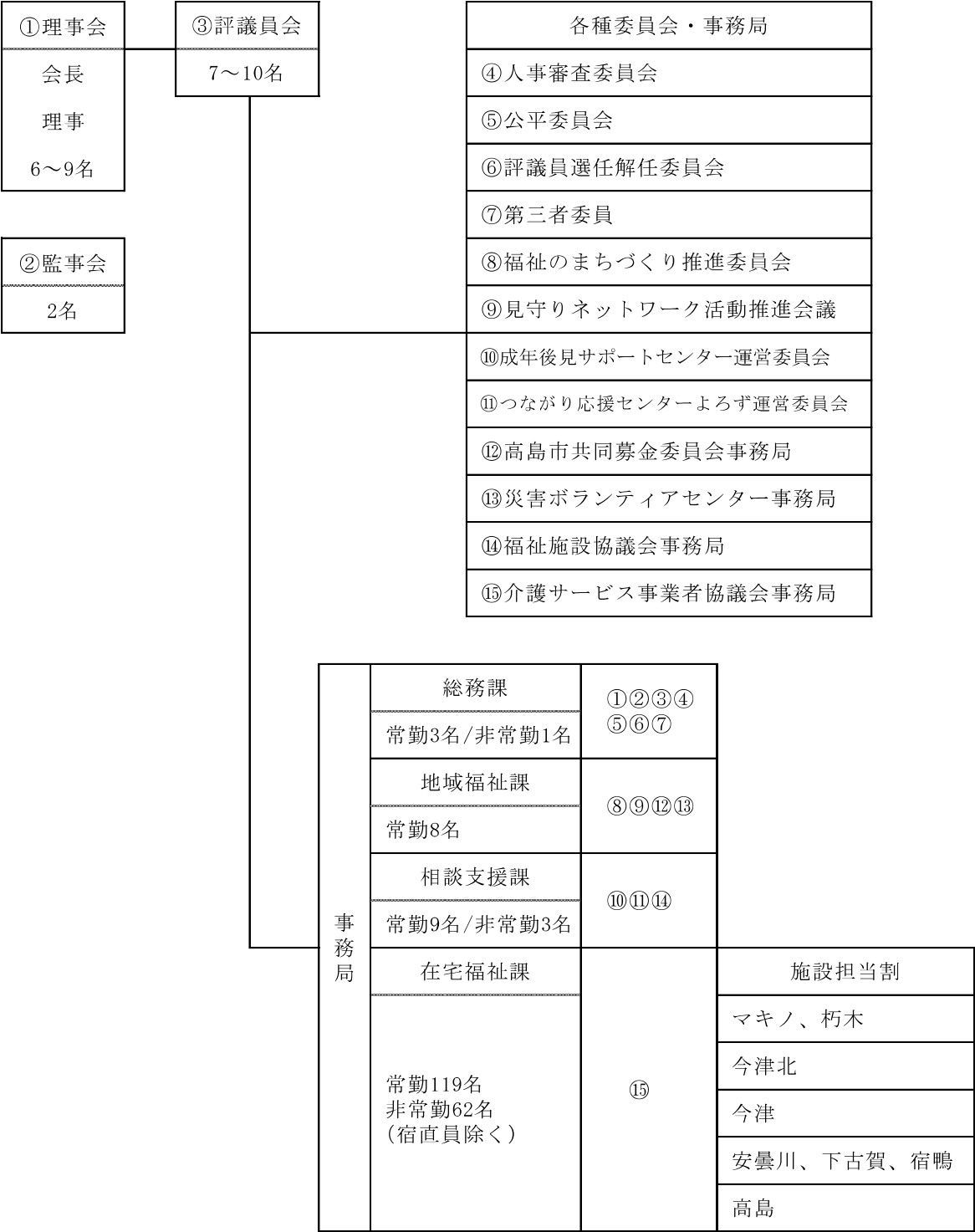

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会

目 次

◇ 事業推進体制	1
◇ 総括	2
◇ 総務課（法人本部）	4
◇ 地域福祉課	10
◇ 相談支援課	18
◇ 在宅福祉課	23

令和3年度 社会福祉法人高島市社会福祉協議会 事業推進体制（事務機構図）



※職員数は、常勤139名、非常勤66名（当年度の平均人数）

令和3年度社会福祉法人高島市社会福祉協議会事業報告

I 総括

長期化する新型コロナウイルス感染症は、収束の目途が立たない中、第4波、第5波、第6波の影響により、本会が進める地域福祉の取り組みを自粛せざるを得ない状況にありましたが、地域共生社会の実現に向けた協働の中核を担う組織として、あらゆる地域生活の課題への対応と、地域のつながりづくりに取り組みました。

「あたたかな つながりを実感できる みんなが主役のまちづくり」を地域福祉ビジョンとする、「第三次高島市地域福祉推進計画」のスタートの年度でした。コロナ禍で集落や各種団体での活動が縮小している中、さまざまな工夫を凝らしながら見守り活動や訪問活動に取り組む先進事例を紹介するなど、今まで培った地域の絆をつなぎとめる働きかけとともに、新たなつながりづくりにも努めました。

介護の現場では、限られた職員体制で日々、感染リスクを抱えながらも感染対策に努め、年度を通じて新型コロナウイルス感染症に起因して事業所を閉鎖することなく、全事業所が営業を続けることができました。

一方、今冬は、例年にない大雪に見舞われ、送迎車両が運転できない道路状況の中、止む無く通所介護事業所での営業を1日休止しました。

また、2月24日の降雪時の利用者送迎中、送迎車両に一般車両が激突し、利用者1名が死亡、職員2名が負傷をする事故が発生しました。

今後も、新型コロナウイルス対策に万全を期すとともに、安全運転と事故防止に努めます。

本年度は、平成29年4月1日の改正社会福祉法の施行から4年目を迎え、2期目の理事、監事の改選はもとより、議決機関としての評議員会の設置が義務付けられてから最初の評議員の改選の年度でした。

理事7名、監事2名が、6月開催の定時評議員会において、また、評議員9名が、同月開催の評議員選任解任委員会において新たに選任されました。

当会が、公の施設の指定管理者として、施設運営及び維持管理業務を受託している4つの指定管理施設について、新旭総合福祉センター「やすらぎ荘」、安曇川デイサービスセンター、高島デイサービスセンターの3施設が、本年度末をもって指定期間が満了となることから、今後の事業運営について理事会、理事協議会で協議を重ね、市との協議を経て、引き続き指定管理者として施設運営に当たることになりました。

本年度の決算における法人全体での純資産は、前年度から減少しており、地域福祉事業や相談支援事業等「公費・民間財源拠点区分」における財源確保はもとより、「事業収入拠点区分」における介護保険事業等の採算性の確保は喫緊の課題です。

そのため、従来の会計区分を変更し、「公費・民間財源拠点区分」、「事業収入拠点区分」に加え、「法人本部拠点区分」を設け、管理会計に注力できる体制を構築しました。

介護職員を対象に、令和4年2月、介護職員処遇改善支援補助金制度が創設されましたが、本会では、介護職員はもとより、法人全体の人材の確保・育成・定着と職員間の公平を図るため、地域福祉や相談支援を担当する職員にも本制度を適用しました。

最後に、令和3年4月1日に施行の改正社会福祉法で、複雑化・複合化した地域生活課題に対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくり支援を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」が新設されました。

本会においても、「第三次高島市地域福祉推進計画」のもと、包括的支援体制の構築に向けて、連携・協働の場としての役割を担います。

Ⅱ 総務課（法人本部）

（１）役員等一斉改選

本年度は、平成２９年の社会福祉法人制度改革以降最初の評議員の一斉改選が行われました。また、２年に一度の役員改選も同時期に行われ新体制でのスタートの年度でした。

（２）新型コロナワクチンの職域接種

６０歳未満の職員の、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は、高島市商工会が実施した職域接種で対応しました。

接種を希望した１０７名の職員が、９月末までに２回目の接種を終えることができました。

（３）安全・安心委員会の設置

各事業所における労働環境の改善等について協議し、職員の健康管理の強化につなげることを目的に、「安全・安心推進委員会」を設置しました。

今年度は、各事業場から選任された職員代表１０名の構成で３回開催し、労働環境の改善や危険予知トレーニングの協議を行いました。また、施設ごとに月間テーマを設定し、活動を行いました。

１．会務の運営

（１）理事会

回	開催日	議題等	可否等
1	6/ 4(金)	令和２年度事業報告	可決
		令和２年度決算報告	可決
		評議員会の召集	可決
		次期評議員候補者の選任	可決
		次期役員候補者の選任	可決
		定款施行細則の一部改正	可決
		労働条件及び労働時間等に関する調査結果	報告
		社会福祉充実残額の算定結果	報告
		介護保険事業等の実績	報告
2	6/21(月)	会長及び常務理事の選定	可決
		理事会運営に関する内規による担当理事の選任	可決
		評議員選任・解任委員の選任	可決
		事務局長の任免	可決
3	7/23(金) 書面決議	常務理事の辞任に伴う後任候補者の選任	可決

4	8/30(月)	事務局長の選任	可決
		諸規程の一部改正	可決
		高島市公の施設の管理者の公募	協議
5	11/15(月)	会議規程の一部改正	可決
		中間監査の結果	報告
		会長及び常務理事の自己の職務の執行状況	報告
		介護保険事業等の実績	報告
6	3/22(火)	諸規程の一部改正	可決
		令和3年度資金収支予算の補正	可決
		評議員の辞任に伴う補欠評議員候補者の選任	可決
		事務局長の選任	可決
		理事候補者の選任	可決
		任期満了に伴う第三者委員の選任	可決
		令和4年度事業計画	可決
		令和4年度資金収支予算	可決
		評議員会の召集	可決
		令和4年度役員賠償責任補償特約への加入	可決
		会長及び常務理事の自己の職務の執行状況	報告
		滋賀県運営適正化委員会の運営監視結果	報告
		介護保険事業等の実績	報告

(2) 監事会

回	開催日	監査内容	可否等
1	5/21(金)	令和2年度事業報告ならびに決算監査	認定
2	10/28(木)	令和3年度上期の業務ならびに会計監査	認定

(3) 評議員会

回	開催日	議題	可否等
1	6/21(月)	令和2年度事業報告	可決
		令和2年度決算報告	可決
		次期役員の選任	可決
2	8/10(火) 書面決議	常務理事の辞任に伴う後任理事の選任	可決
3	3/23(水)	令和3年度資金収支予算の補正	可決
		理事の選任	可決
		令和4年度事業計画	可決
		令和4年度資金収支予算	可決

(4) 評議員選任・解任委員会

回	開催日	監査内容	可否等
1	6/21(月)	次期評議員の選任	可決
2	3/22(火)	評議員の辞任に伴う補欠評議員の選任	可決

2. 第三者委員会の運営

回	開催日	内容
1	1/17(月)	令和3年12月までに受付けた苦情・要望等の報告及び意見交換

3. 人事考課の実施

実施月	種別	対象	内容
4月	人事考課	正規職員	令和2年度下期考課実施後、人事審査委員会で各人の評語を確定し、フィードバック面接を実施
	目標管理	係長以上及び地域福祉課員	令和3年度の各人の目標を決定
1～2月	人事考課	正規職員	令和3年度考課実施後、人事審査委員会で各人の評語を確定し、フィードバック面接を実施

4. 各種研修等の実施

実施時期	区分	対象	内容
7/9(金)	法人運営	新任役員、 評議員 10 名	社協の歴史及び本会の実施事業
7/1(水) ～ 7/14(水)	交通安全	全職員	保険会社の WEB 配信等 ① 歩行者、自転車との事故防止 ② 出会い頭事故防止 ③ マイカー通勤時の事故防止 ④ あおり運転の厳罰化 その他、過去5年間の本会事故分析から見た事故傾向の情報提供を行った。

8/2(月) ～ 8/13(金)	人権	全職員	資料配布による個別研修 これまでの「対利用者」に関する虐待防止等の人権問題に寄せたテーマから、「社会的責任」といった視点も入れながら考える内容とした。
10/12(火) ～ 10/29(金)	情報セキュリティ		本会情報資産の機密性・完全性・可用性を確保するため、各課の取り組み評価を受けて、想定されるマイナス原因を分析後、その解決方法を提示することにより、以後の取り組みへ繋げた。

5. 施設の維持管理

(1) 指定管理施設

新旭総合福祉センター「やすらぎ荘」、安曇川デイサービスセンター及び高島デイサービスセンターの3施設は、令和3年度末で指定期間が満了となり、公募の結果、引き続き3施設の指定管理を受けることになりました。

	施設名称	地域	協定期間
1	在宅介護サービスセンター「はあとふるマキノ」	マキノ	平成30年度から令和4年度まで5年間
2	新旭総合福祉センター「やすらぎ荘」	新旭	平成29年度から令和3年度まで5年間
3	安曇川デイサービスセンター	安曇川	
4	高島デイサービスセンター	高島	

(2) 自施設

	施設名称	地域	事業開始年月
1	デイサービスセンターしふくの杜	今津	平成21年10月
2	えがお屋本舗宿鴨店	高島	平成21年10月
3	えがお屋本舗下古賀店	安曇川	平成24年5月
4	グループホームはあとふる朽木	朽木	平成26年5月
5	きらり今津 えがお屋本舗上弘部店	今津	平成29年4月 平成29年5月

6. 福利厚生

内 容	対 象	実施時期
定期健康診断	全職員	6/22(火)～6/28(月)の都合 5 日間
健診結果の医師の意見聴取	全職員	7 月下旬
医師の指示者に対する保健指導	9 名	8 月上旬
インフルエンザ予防接種	全職員	11/10(水)～11/18(木)の都合 4 日間
定期健康診断 (2 回目)	夜間勤務者	1/20(木)～1/22(木)の都合 2 日間
本会慶弔規程の適用	全役職員	通年
高島市勤労者互助会への加入	全職員 (任意)	

7. 広報活動

発行月	名称	内容	配布先
6	しふくのふくし 通巻 88 号	令和 3 年度事業計画・予算 第 3 次地域福祉推進計画等	全戸
9	しふくのふくし 通巻 89 号	令和 2 年度事業報告・決算 役員・評議員定期改選 赤い羽根共同募金運動等	
2	しふくのふくし 通巻 90 号	コロナ禍でのサロンや見守りの取り組み、各種お知らせ等	
7	職員情報紙きらり 通巻 125 号	安全・安心委員会、各課からのお知らせ	全職員
11	職員情報紙きらり 通巻 126 号	きらりちゃん紹介 (いつも「笑顔」で頑張っている職員紹介)	
—	ホームページ	体制変更等に伴う所要の変更	WEB 公開

8. その他

開催月	区分	内容
6/18(金)	安全・安心委員会	委員会の目的説明、36 協定の説明 KYT（危険、予知、トレーニング）の説明 及び各事業場での取り組みを依頼
9/14(火)		KYT 取り組み報告、月間テーマの取り決め 等
11/19(金)		月間テーマの取り組み報告等
8/21・9/18 8/22・9/19 8/28・9/25 8/29・9/26	新型コロナワクチン職域接種	20 歳～59 歳までの職員のうち本接種を希望した 107 名の割り振りを 4 パターンにて行った。 (1 回目・2 回目)

Ⅲ 地域福祉課

(1) 第3次高島市地域福祉推進計画の推進

今年度は、第3次高島市地域福祉推進5ヶ年計画の初年度でした。

コロナ禍での計画進行にあたっては、感染対策を講じながら、出来る限り、地域住民、各種団体、関係機関との連携を図る機会を設け、「連携、協働」の場が途切れないように働きかけました。

(2) 福祉学習プログラム研究会（仮）の設置

すべての人が、豊かな福祉の心を育むことのできる総合型の福祉学習プログラムを作成するにあたり、プログラム作成にかかる研修を受講し、準備を進めました。

(3) 住民自治協議会との連携

各中学校圏域において設置された住民自治協議会の設立準備会に、アドバイザーとして参加し、住民福祉協議会が進める住民福祉活動計画と連携、協働できるよう働きかけました。

1. 生活支援コーディネーター業務の受託

高島市から業務委託を受け、6地域の第2層生活支援コーディネーターとしてコミュニティワーカー業務と一体的に活動しました。

内 容	支援ニーズ、活動内容の把握（地区カルテ、集落カルテの作成） 生活支援コーディネーター定例会（月1回） 高島市生活支援体制整備協議体会議（10月14日、2月14日） セーフティネット連絡会との連携（地域ごとに開催） 生活支援体制整備事業研修会の参加 生活支援コーディネーター基礎研修（7月29日） 生活支援コーディネーター学習・情報交換会（1月24日）
--------	---

2. 区・自治会における見守りネットワークによる福祉のまちづくり

(1) 区・自治会地域を対象とした活動支援

- ① 福祉推進委員会活動の手引き・ふくしの出前講座パンフレットを作成し、関係者に配布しました。

福祉推進委員会活動の手引きには、地域のつながりを絶やさない活動が進められるよう「with コロナ」のコメントを掲載し、福祉3役（区長（自治会長）、福祉推進員長、民生委員児童委員）に配布しました。

種類	発行部数	内容等
福祉推進委員会活動の手引き	800 部	手引きの目的 高島市の現状 福祉推進委員会活動のいろは コロナ禍でもつながりが継続できる工夫 他
ふくしの出前講座パンフレット	800 部	介護サービス 認知症、回想法、防災 エンディングノートと成年後見 ボランティア紹介等 10 選 他

② 福祉推進委員会研修の実施

年 3 回研修会を実施する予定でしたが、コロナ感染拡大予防のため研修会での意見交換はできませんでした。

そのため、アンケートによりコロナ禍における各区（自治会）の活動状況を聞き取り、研修会等で情報を発信しました。

開催日	種類	内容等
9 月	アンケート	委員会活動の現状、課題、取り組み工夫の聞き取り
10 月 22 日	研修	参加人数：22 人 内容 アンケート結果報告 高島市内のコロナ感染状況と感染対策方法 第 14 回全国校区・小地域福祉活動サミット （オンライン）参加
2 月	文書配布	「地区の取り組み紹介、おすすめ出前講座」チラシ 配布

③ 見守りネットワーク活動推進会議の開催

見守りネットワーク活動を推進するための協議を行いました。

開催日	参加人数	内容
9 月 30 日	12 人	見守りネットワーク活動の意義、推進するための アイデアについて協議

④ つどい見守り情報交換会

福祉推進委員会研修を兼ねて開催を計画していましたが、コロナ禍のため実施できませんでした。

⑤ キャラバン隊による居場所支援の実施

キッチンカーを利用し、朽木住民福祉協議会と連携し朽木地域での住民の交流を目的に実施しました。

開催日	参加人数	内容
4月9日	25人	住民とのふれあい交流会（朽木支所） （寄り合い処「くつつき」4周年記念として実施）
5月21日	32人	
3月6日	60人	住民福祉協議会活動の啓発（朽木新本陣）

⑥ 高島ワークキャンプ（大学との連携による集落支援）の実施

立命館大学生と地元住民が協力して活動できるようコーディネートを行いました。また直接交流を避けオンラインでの交流や、相談支援課とも連携し学習支援のマッチングを行いました。

開催日	参加人数	内容
7月3日	23人	環境を守る今津の会の活動 （特定外来種の駆除）とマッチング
8月23日	4人	今津在住高校生への学習支援（オンライン）
9月14日	5人	防災講座（オンライン）
3月28日	14人	高島晒協業組合、浜分区と交流
3月31日	13人	浜分区で太極拳を通して中国人留学生と交流

（2）活動助成金の交付

ふくしのまちづくり助成金の交付（財源：社協会費、共同募金）			
助成額	5,223,869円	助成先	133区・自治会

（3）民生委員児童委員協議会との連携

① 単位民生委員児童委員協議会定例会への参加

担当地域の定例会に出席し、顔の見える関係づくりと情報交換を行いました。

② 歳末贈呈品見守り事業の実施

民生委員児童委員協議会と連携し、80歳以上の高齢者等1,395人に対し、昆布茶や緑茶を贈呈する見守り訪問活動を実施しました。

3. 日常生活圏域における暮らしの場からの多様な地域拠点づくり

(1) 地域拠点づくりを推進する体制の整備

地域拠点づくりを進める体制づくりについて、介護サービス事業者協議会の代表との話し合いを行いました。

4. 住民福祉協議会の活動促進

(1) 6 地域住民福祉協議会の組織支援・活動支援

① 第3次住民福祉活動計画の推進

6 地域のコミュニティワーカーが、各地域の活動計画に基づき支援を行いました。コロナ禍により計画通りには実施できませんでしたが、活動が継続できるよう、代替方法を検討しました。

マキノぬくもり福祉ネットワーク	
内容	コア会議、運営委員会の開催（月1回） セーフティネット連絡会の開催（10月、3月） 地区ボランティアセンターの開催（月2回） 出前地区ボラセンの開催（8月） 出張ぬくもりひろば（移動販売とコラボ）の開催（11回） ぬくもり食堂の開催（3月）
今津ふくしの会	
内容	コア会議、定例会の開催（月1回） 活動エピソード集の配布 ふくし双六の作成（今津中学校美術部との連携） セーフティネット連絡会の開催（10月、11月）
朽木住民福祉協議会	
内容	定例会（月1回） 広報紙「あいの郷通信」の発行（月1回） 見守り型訪問活動
安曇川住民福祉ネットワーク	
内容	役員会の開催（4回） 育ちあい部会の開催（2回） 安中・カフェの実施（11回） わくわくサラダの実施（3回）
高島住民福祉ネットワーク	
内容	定例会の開催（月1回） 配食弁当の実施（月2回） 子ども食堂（テイクアウト）の実施（7回） 地区ボランティアセンター「まちあかり」の開設（13回） 手紙の配布（7回）

新旭住民福祉協議会	
内容	役員会（オンライン）の開催（1回） 定例会の開催（4回） ふれあい農園活動（6回） 新旭子ども食堂の実施（6回） 歳末もちつき大会（1回） 広報紙「たいよう」の発行（1回）

② 地区ボランティアセンターコーディネーター学習会の開催

大阪ボランティア協会の青山織衣氏を講師に招き学習会を開催しました。

開催日	参加人数	内 容
10月18日	34人	ボランティア活動とボランティアコーディネーターの意義について
11月9日	33人	ボランティアコーディネーターの役割 これからの地区ボランティアセンターの取組みについて

③ 住民福祉協議会代表者会議の開催

開催日	参加人数	内 容
4月8日	14人	令和3年度事業計画、事業推進体制について 意見交換
10月26日	12人	上半期の事業進捗状況について 各地域の活動について 意見交換
2月	代表個別	活動状況の聞き取りと次年度の打合せ

(2) セーフティネット連絡会の開催

各地域の住民福祉協議会と共同で地域のニーズや課題に沿ったテーマで開催しました。

地域	開催日	参加人数	内 容
マキノ	10月29日	28人	「子どもの居場所づくり」 「子ども食堂の開設」について
	3月24日	23人	「防災」「個別避難計画」と 住民自治協議会との連携について

今津	10月22日	27人	「こども・若者を取り巻く課題」について
	11月24日	29人	1回目の振り返りと各々が実践できることについて
朽木	10月6日	12人	独居高齢者、認知症高齢者の地域における課題について
	3月11日	20人	「地域の中のつながり探し」について
安曇川	11月10日	27人	「コロナ禍でもできる活動」について
高島	10月26日	21人	「防災・減災・避難行動」について
	3月8日	12人	新拠点の活用について
新旭	10月26日	23人	「健康と防災について」

(3) 活動助成金の交付

助成額	678,263円	住民福祉協議会活動助成(6地域)
助成額	88,084円	住民福祉協議会特別助成(朽木の拠点維持費として)

5. 住民参加の促進

(1) ボランティア活動の支援

① ボランティア活動の相談・ボランティア保険手続きの支援

住民や団体からのボランティアの要望に対し、マッチングを行い随時保険手続きの支援を行いました。

② 傾聴ボランティア活動のマッチング支援

住民ニーズを聞き取り、活動グループとのマッチング支援を随時行いました。

ボランティアの高齢化とともに活動者が減ってきていることから、新たに募集を行い、活動者が2名増えました。

③ ボランティア・福祉学習センターの在り方の検討

市域でのボランティア活動者や子育て中の世代をターゲットに、「やすらぎ荘」を拠点とした気軽に集まれる場をつくりました。

(2) 福祉学習の推進

市内の小・中学校、高等学校等を対象に、当事者や地域住民の参加・協力を得ながら学習プログラムを提案し実施しました。

開催回数	年間 53 回（市内小学校、中学校、ECC 学園、自主保育所等）
内容	視覚障害・聴覚障害の理解 高齢者理解、認知症理解、民生委員体験 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて 聖火ランナー体験 福祉と SDG s、人権・障害者差別 等

(3) 災害支援体制の強化

① 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

本会管理職と地域福祉課職員を対象に、災害ボランティアセンターマッチングシミュレーションゲームを活用し図上訓練を実施しました。また、センター設置運営マニュアル作成について検討しました。

② 災害ボランティア活動連絡協議会の運営支援

内容	定例会、役員会、部会の開催（年間 13 回） 会員スキルアップ研修会（12 月） 防災出前講座の企画・実施（15 回）
----	---

6. その他

(1) 高島市地域福祉推進計画の進行管理と評価

① ふくしのまちづくり推進委員会の開催

開催日	内容
3 月 10 日	委員長、副委員長の選任 報告事項 高島市地域福祉計画の概要 住民自治協議会の活動 第 3 次高島市地域福祉推進計画の重点項目 住民福祉協議会の活動報告 グループディスカッション 今後必要な取り組みについて

(2) 高島市共同募金委員会の事務局運営

① 共同募金運動

10月1日から3月31日を運動期間として募金活動（一般募金、歳末助け合い募金、赤い羽根見守り募金）を行いました。

（募金総額：11,669,089 円）

② 理事会・審査会の開催

種類	内容
事務局会議	打合せ (理事会、審査会、百貨店プロジェクト、理事勉強会等)
理事会 監事会	4月 会長・副会長選任 5月 令和2年度事業および決算監査 6月 令和2年度事業報告・決算報告 2月 令和4年度事業計画・予算
審査会	6月 地域のきずな助成 8月 たかしま未来助成

③ 助成金交付

地域の課題解決を目指す多様な団体へ助成し、地域福祉の推進を図りました。

助成金種類	団体数	助成金額
地域のきずな助成	45 団体	740,226 円
たかしま未来助成	2 団体	200,000 円
年末年始地域たすけあい活動助成	10 団体	154,780 円

④ 募金百貨店プロジェクト推進事業の実施

募金百貨店協賛事業者の企業間のつながり強化や、プロジェクトの拡大について検討しました。

企業へ働きかけを行い、新たに4社の協力を得ることができました。

また、募金者と活動者の交流の機会として、平和堂今津店で赤い羽根つながり交流会を実施しました。

IV 相談支援課

(1) 生活困窮者自立支援事業を中心とした相談支援について

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少し困窮状態に陥った世帯からの特例貸付への相談対応に追われました。

また、関係機関との連携については、オンライン等を活用して会議や研修を実施するなど、コロナ禍においても実施できる形を検討し、進めることができました。

(2) 地域福祉権利擁護事業を中心とした総合相談・権利擁護支援について

地域福祉権利擁護事業や法人後見事業により、判断能力の不十分な方の支援を行いました。

成年後見制度利用促進法に基づき、令和 4 年度から高島市に設置される中核機関や地域連携ネットワークについては、成年後見サポートセンター運営委員会において、高島市と高島市社協が共同で機能を分担する高島市らしい展開のあり方について協議することができました。

(3) その他の取り組みについて

単身化や無縁化の中、一人になっても安心して暮らしていけるよう、身寄りのない高齢者等の支援の仕組みを考える取り組みをスタートしました。

また、社会福祉法人等の地域貢献を促進する取り組みとして、高島市福祉施設協議会での研修の実施や、本会事業所へのよろず相談窓口の設置を推進しました。

1. 制度の狭間・社会的孤立の問題への対応

(1) 生活困窮者自立支援事業を中心とした相談支援

1) 自立相談支援事業

① 相談支援

コロナ特例貸付相談への対応が多く、新規相談受付件数は例年に比べ 2 倍程度ありました。またプラン作成は、昨年度より 4 件ほど増加しました。

新規相談受付件数	204 件	プラン作成件数	42 件
----------	-------	---------	------

② つながり応援センターよろず運営委員会

生活困窮者の相談状況等を共有し、取り組みや連携について協議を行いました。

実施時期	7 月 20 日、2 月 18 日
内容	コロナ禍における相談支援状況報告 取り組みの実施状況報告 必要な支援や取り組みについての協議

③ つながり応援支援者ネットワーク会議

ひきこもり状態にある本人とその家族の支援について、関係機関と課題を共有し、必要な支援や取り組みについて学び合いました。

実施時期	10月13日
内容	講演「ひきこもる人の気持ち」 講師：NPO 法人パノラマ石井正宏氏 意見交換

④ 相談窓口職員連絡会

相談支援機関や相談を受ける機会のある職員等を対象に開催しました。

「発達障がい支援に学ぶ、より良いコミュニケーションのとり方」をテーマに、窓口や相談場面における丁寧な対応について学び合いました。

実施時期	11月16日	参加人数	57人
内容	コロナ禍における相談支援状況報告 取組の実施状況報告 必要な支援や取り組みについての協議		

⑤ 子どもの貧困対策情報交換会

行政、教育、福祉関係機関と地域の活動者やボランティアを対象に開催し、ひとり親家庭等の課題や支援制度等について学び、それぞれができる支援や取り組みについて話し合いました。

実施時期	12月16日	参加人数	38人
内容	高島市の現状と取組の報告 講演「ひとり親家庭の子どもたちの進路とできる支援について」 講師：(株) マイライフ・エフピー 加藤葉子氏 意見交換		

2) 家計改善支援事業

家計収支の改善に効果を発揮しました。

新規相談受付件数	204件	家計改善プラン作成件数	15件
----------	------	-------------	-----

3) 生活・学習支援事業

① 子どもの居場所（フリースペース）の運営支援

困窮する世帯の子どもを受止め、生活支援や学習支援を行うフリースペースを市内6カ所で開設しました。

開設数	6カ所	開催回数	230回
利用者数	19人	専門員・ボランティア数	32人

② 子どもの居場所運営会議

フリースペースを運営する施設管理者、専門員と子ども分野の相談支援機関により、運営の課題やこれからの取り組みについて意見交換を行いました。

実施時期	12月21日
内容	フリースペースの運営状況報告 意見交換「フリースペースのいままでとこれからについて」

③ 子どもの居場所利用支援検討会議

対象児童をフリースペースにつなぐ支援機関とフリースペースの運営を行う事務局により、フリースペースの運営状況や利用児童の状況、また新規利用者の検討等を行いました。

実施時期	6月23日、11月18日、3月14日
内容	事業の運営状況および利用児童の支援状況の確認 新規対象利用者の受入検討 利用終了予定者の状況確認

(2) 地域福祉権利擁護事業を中心とした総合相談・権利擁護支援

1) 地域福祉権利擁護事業・法人後見事業

① 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分な方への福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理等の支援により日常生活の自立を支援しました。

契約件数	10件	契約終了件数	14件	増減数	△4件
現契約者数		81人	相談支援延べ回数	3,408回	

② 法人後見事業

本会が法人後見人になり、被後見人等の財産管理と身上保護を行いました。

法人後見受任件数	7件	相談支援延べ回数	239回
受任類型ごとの件数	後見5件、保佐2件		

2) 成年後見サポートセンター事業

① 成年後見サポートセンター運営委員会

福祉関係機関と弁護士や司法書士や社会福祉士等と、成年後見制度の普及啓発や利用促進、関係機関ネットワーク構築、センター事業の円滑な実施に向けて協議を行いました。

実施時期	10月7日、3月18日
内容	高島市における中核機関等の進捗状況について 各参加機関の現状について 今後の高島市の権利擁護支援のあり方について

② 成年後見制度普及啓発講座

制度の普及啓発のため、専門職向けの講座を開催しました。

実施時期	3月3日	参加人数	45人
内容	成年後見制度についての概要説明 高島市における中核機関等についての説明 講演「権利擁護支援・意思決定支援について」 講師：甲賀・湖南成年後見センターぱんじー 桐高とよ子氏		

③ 高島市なんでも相談会

多様な支援機関が一堂に集まり、相談者のニーズに対してワンストップで応じる体制のもと開催しました。

実施時期	2月25日	相談件数	15件
相談内容	相続、債務、離婚、成年後見制度など		

3) 総合相談等事業

① 無料法律相談所

市民が身近な場所で気軽に法律問題を弁護士に相談できる機会として、偶数月に相談所を開設しました。

開催回数	6回	相談件数	36件
開催方法	偶数月に1回開設し、1件30分の6件まで予約を受け付け、相談を実施しました。		
相談内容	相続、財産、雇用問題、離婚、ご近所トラブル		

② 高島こころのつえ相談室

自殺予防対策の事業として、ボランティア相談員による電話相談室を月2回開設しました。

開催回数	23回	相談件数	69件
開催方法	月2回13:00～17:00まで電話相談室を開室しました。		
研修等	相談員向けフォローアップ研修を年4回実施しました。		

4) 資金貸付事業

① 生活福祉資金の相談・貸付手続きの代行

低所得者や障がい者を対象として各種資金貸付制度を実施し、借入後の生活相談等も行い、世帯更生を目指して支援を実施しました。

貸付件数	3 件
貸付資金の内容	教育支援資金、療養費、緊急小口資金

新型コロナウイルス感染症の影響による失業や休業のため生活に困窮する世帯への生活費の貸付を実施しました。

コロナ特例貸付件数	254 件
貸付資金の内容	緊急小口資金、総合支援資金、 総合支援資金延長、総合支援資金再貸付

② 法外援護小口資金の相談・貸付

生活困窮状態に陥った方の生活再建のため貸付を実施しました。

貸付件数	10 件	貸付金額	365 千円
------	------	------	--------

2. その他

(1) 高島市福祉施設協議会の事務局運営

市内の社会福祉法人等の施設事業所職員を対象に研修を実施しました。

テーマを「自らの価値を高める社会福祉法人の地域貢献のあり方を考える」とし、主にまちづくり分野で活動をされている山崎亮氏を講師に招き実施しました。

(2) 新たな仕組みのあり方の研究

滋賀県社会福祉協議会が主催する勉強会に参加し、先駆的な実践を進める他市町の事例等を学びました。

(3) 各事業所への「よろず相談窓口」の設置と「連携窓口担当職員」の配置

本会各事業所に窓口の設置と担当職員の配置を行いました。

V 在宅福祉課

(1) 安定的・継続的な事業運営

新型コロナウイルス感染症が蔓延するなか、必要な予防対策を講じながら、サービスの提供に努めました。

また、例年になく冬期の大雪の影響で、全ての事業に支障がある中、通所事業においては1日休業を余儀なくされたものの、安定的、継続的な事業運営を行うことができました。

(2) 利用者の減少・収入減少

利用者の生活環境やサービスの嗜好が変化しつつある中、また、他法人等におけるサービス参入の影響を受け、更には、介護人材不足の影響もあり、全ての事業において利用者ならびに事業収入が、前年度に比べ減少しました。

なお、高島訪問入浴介護事業は、看護師人材の確保が困難な状況から、新年度の営業を休止し、訪問介護事業を充実します。

1. 介護保険事業（介護予防を含む）の実施

(1) 居宅介護支援事業

今津北と高島の2事業所において、居宅サービス計画を作成するとともに要介護認定調査を行いました。

区分	今津北	高島	合計
利用延人数	3,630 人	2,995 人	6,625 人
月平均実人数	302 人	250 人	552 人

(2) 訪問介護事業

今津北と高島の2事業所を拠点として、身体介護、生活援助および通院等乗降介助のサービス提供を行いました。

	今津北	高島	合計
利用延人数	1,053 人	1,027 人	2,080 人
総利用回数	15,372 回	14,151 回	29,508 回
月平均実人数	88 人	85 人	173 人

(3) 訪問入浴介護事業

高島を拠点とし、週3日間市内全域の利用者宅を訪問し、移動式浴槽により入浴サービスを提供しました。

訪問介護事業所と一体的に事業を実施し、人員配置の効率化を図り、終末期の緊急利用にも柔軟に取り組みました。

また、年々利用者も減少しつつあるなかで、職員の確保も困難となっていることから、令和4年3月31日をもって事業を休止しました。

総利用回数	654 回
月平均実人数	13 人

(4) 通所介護事業

市内6か所（内、新旭は今津デイサテライト）のデイサービスセンターにおいて、入浴や食事、健康チェック、機能訓練等のサービスを提供しました。
(単位:人、回)

区分	マキノ	今津北	今津	安曇川	高島	合計
利用延人数	1,038	770	1,032	776	926	4,542
総利用回数	8,955	6,221	7,499	6,241	8,143	37,059
月平均実人数	87	64	86	65	77	405

(5) 認知症対応型共同生活介護事業

マキノ、朽木の事業所において、認知症高齢者がそれぞれの残存機能を活かしつつ、穏やかな日常生活が送れるよう支援しました。

区分	マキノ	朽木	合計
利用実人数	113 人	110 人	223 人
延利用者数	3,218 人	3,176 人	6,394 人

(6) 小規模多機能型居宅介護事業

市内3か所の事業所において「通い」を中心に必要に応じて、「訪問」や「泊り」を組み合わせたサービスを提供しました。

適切な人員配置で事業実施できるよう、サービス提供時間の見直しを行いました。

区分	宿鴨	下古賀	上弘部	合計
利用延人数	208 人	239 人	229 人	676 人
総利用回数	9,789 回	7,571 回	8,496 回	25,856 回
月平均実人数	17 人	20 人	19 人	56 人

※総利用回数は、通い、訪問、泊りの延べ利用回数

2. 障がい福祉サービス事業の実施

(1) 居宅介護・重度訪問介護事業

障がい者の居宅を訪問し、身体介護、家事援助および通院介助のサービスを、市内2か所の介護保険事業所において一体的に提供しました。

区分	今津北	高島	合計
利用延人数	68 人	175 人	243 人
総利用回数	1,063 回	2,922 回	5,285 回
月平均実人数	6 人	14 人	20 人

3. その他の在宅サービス事業の実施

(1) 福祉有償運送事業

道路運送法第79条に基づき、公共交通機関の利用が困難な移動制約者の通院等の支援を行いました。

利用延人数	673 人
総利用回数	2,080 回
月平均実人数	56 人

(2) 高島市家族介護教室

高島市から事業委託を受け、高齢者を介護する家族等を対象に、介護の悩みや工夫などの情報交換を行うとともに適切な介護知識や技術を学ぶ学習会を開催しました。

開催回数	6 回
延参加人数	59 人

(3) 高島市しふくの広場

高島市の一般介護予防事業として委託を受けて事業を行いました。

65歳以上の虚弱高齢者に対し社会参加を促し、日常動作訓練や創作活動を行いました。

実施場所	マキノ町	今津町	新旭町	安曇川町	高島	合計
活動回数	49 回	45 回	49 回	48 回	50 回	241 回
利用延人数	99 人	64 人	77 人	136 人	140 人	520 人
総利用回数	368 回	217 回	282 回	441 回	539 回	1,847 回
平均利用者数	7.5 人	4.8 人	5.8 人	9.2 人	10.8 人	7.7 人

※朽木の利用者は、安曇川会場で実施

4. 職員の育成

(1) 介護支援専門員受験準備講座

有資格者の確保と職員のスキルアップを目的として、受験資格のある希望者に対し、模擬試験を中心とした勉強会を行い、3名の合格者を得ました。

準備講座開催回数	9 回
参加実人数	16 人
延参加人数	99 人

(2) 介護福祉士受験準備講座

資格取得者の確保とサービスの質の向上をめざし、受講を希望する職員を対象に、国家試験対策として模擬試験やポイントの解説を行いました。

1名の職員が合格しました。

準備講座開催回数	3 回
参加実人数	3 人
延参加人数	8 人

(3) 専門研修の実施

研修項目	内容
認知症研修	認知症の医療基礎 (9 月、WEB) 認知症に必要な視点 (9 月、WEB)
救急救命研修	応急手当 WEB 講習 (1 月)
感染対策研修	感染拡大予防のための職員の健康管理他 (11 月、WEB)
防災力向上研修	個別避難計画作成演習 (6 月、WEB)

5. 委員会活動の実施

研修項目	内容
感染症対策委員会	食中毒予防「家庭で行う HACCP」(6 月、WEB) 新型コロナウイルス感染症感染者発生シミュレーション訓練 (3 月)
虐待防止委員会	身体拘束ゼロセミナー、市主催の高齢者虐待防止研修会 (11 月、1 月)
BCP 検討委員会	避難訓練の視察研修 (6 月) 事業所 BCP 手引き作成学習会 (9 月)

6. その他

(1) 高島市介護サービス事業者協議会の事務局運営

協議会においては、滋賀県小規模法人ネットワーク化協働推進事業の採択を受け、対象事業となる人材確保対策や事業継続計画、感染症対策等にかかる研修会等を実施しました。